

No.9 大人の自閉症スペクトラム症（講師；今村 明 氏）

○おとなのASD

自閉症スペクトラム症

- ・社会的コミュニケーションの問題
- ・こだわりの強さと柔軟性のなさ+感覚の異質性

以上を中心的な症状とする発達症

これまで自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害などといわれてきたもの

- ・一般人口の1%（DSM-5）
- ・男性>女性

ASD 感覚の異質性・シフトの困難さ

- ・どの感覚にも、過敏さ・苦手さやこだわり、反応の乏しさが生じる場面がある。
（聴覚・触覚・味覚・嗅覚・視覚・前庭感覚・固有感覚）

おとなのASDの問題点

- ・社会コミュニケーション
職場ではいわゆる「ホウレンソウ」がうまくいかない など
- ・こだわりの強さと柔軟性のなさ
臨機応変さ、感覚の問題（周りの音、においなどが気になる） など
- ・その他
自己コントロールの困難；体調管理、睡眠、食事、飲酒、過労
依存症（うつ病、不安症、精神病性障害、トラウマ関連症状など）
など様々な場面で困難さを感じている。

○自閉スペクトラム症の様々なタイプ

ASDの「強み」

- ・社会コミュニケーション
常識にとらわれないユニークな発想力。専門領域では話題が豊富で用語に詳しい
- ・限局性、反復性
自分が納得したルールはきちんと守るまじめさ。自分の思いを貫く、ぶれない強さ。
興味、関心が「広く浅く」より「狭く深く」。自分の関心があるものへの熱心さ。
- ・感覚
視覚的記憶、認知の豊かさ、共感覚
- ・運動
あるスポーツだけは得意

○おとなの自閉スペクトラム症の支援

- ・おとなの自閉スペクトラム症では、様々な精神的、身体的依存症が生じる。
異性との関係、司法の場での問題、就労支援の問題もみられる。
- ・どの問題に対しても一人ひとりに合う対応は違ってくるため、個別の支援を行うことが望ましい。